

資源・技術・文化のあり方とは？
循環型社会（サーキュラーソサエティ）のための

[公開ミニ・シンポジウム]

事前申込不要
聴講自由・先着順
定員=50名程度

Theme

Design for Circular Society サーキュラーソサエティの現在地



Photo: Anna Beltri

Schedule

Tuesday 30 July, 2019 17:00–19:00
2019年7月30日[火] 17:00–19:00

Venue

2F Hall, KYOTO Design Lab
KYOTO Design Lab 2F ホール

Summary

2019年6月に、リ・パブリックより創刊された雑誌MOMENT。この雑誌では、身の回りの技術や資源、文化を捉え直すことで新たな意味とシステムをつくり出す行為を「トランスローカル」と名づけ、世界各地で都市計画やデザイン、ファブをドメインとする活動の取材をおこなってきました。

KYOTO Design Lab [D-lab] では、本雑誌の編集をおこなう内田友紀氏ならびに白井瞭氏と、4月1日から着任した水野大二郎特任教授によるミニシンポジウムを開催いたします。

AIやファブ、バイオなどのテクノロジーが介入する時代において、いかにして資源の循環を生み出すことができるのか。またなぜこれほどまでに循環型社会（サーキュラーソサエティ）が取り上げられているのか。サーキュラーソサエティの根本に立ち返りながら、世界の事例を横断して広く議論をおこなえればと思いますので、ぜひご参加ください。

Speaker

Ryo Shirai [Moment Magazine Chief Editor / RE:PUBLIC Director]

白井 瞭 [MOMENT 編集長 / リ・パブリックディレクター]

Yuki Uchida [RE:PUBLIC Co-founder]

内田友紀 [リ・パブリック共同代表]

Prof. Daijiro Mizuno [KYOTO Design Lab]

水野大二郎 特任教授 [KYOTO Design Lab]